

ヒロセ電機株式会社

2019年3月期第3四半期決算説明会 Q&A 要旨

Q1：

今年度の自動車向け売上予想、対前年度比プラス10%とのことだが、増加のうち新規で獲得している案件の比率はどの程度か？

A1：

新規分は増分の半分未満イメージ。

Q2：

今期の4Q予想、3Q比で売上-60億円、利益-40億円。

4Qがボトムと見えているのか、来期1Qはどういう見通しを持っているのか？

A2：

4Qの見込み、先ほどの説明の通りで12月がそれほど悪かったので、その延長線での現時点の見通しだということ。楽観視せずコンサバティブに置いたところはある。春節明けにまた見極めしなれないといけないと思っている。来期に関しては、本日の内容でないのご勘弁いただきたい。

Q3：

研究開発費の実績と見通しを知りたい。

A3：

3Q累計で97億円、年間見通しは130億円。

Q4：

3Q、4Q予想の利益面に関して。

3Qが思ったより利益が出ている面、4Qが利益が低い面に関し、四半期比較で説明して欲しい。

A4：

3Qの利益面に関しては、費用面で一部、賞与引当を実績に合わせ減らしたものが、損益ではプラスに効いた面があった。

4 Q 予想に関しては、減価償却費と人件費等で2～3億円増え、売上減による限界利益を考慮している。また今期中に落とせるものは落とそうと、少し費用増を見込んでいる。

Q5：

4 Q 売上での変動要因はスマホ向けか産機向けが大きいのか？

A5：

産機向けの方が大きいイメージ。

Q6：

米中摩擦の影響、現状どのような影響か、今後の影響はどうか知りたい。

A6：

下方修正のプレスリリースにあるように米中摩擦による経済環境の不透明感による業績影響はあるが、間接的な影響、数値で計りきれない。今後も同様。

Q7：

2018年度の設備投資予想を10億円増額して170億にした理由が知りたい。

A7：

今期10億円の増額の要因は来年度生産見込みの生産設備等の前倒し等。

特に機械類は納期が長く見込まれるので先行して発注している。

Q8：

4 Q 売上予想の分野別が知りたい。

A8：

分野別は年間の伸び率は、スマホ向け-10%、自動車向け+10%、一般産機向け-2%に予想を変更した。

免責事項

本資料には、ヒロセ電機の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。ご承知おき下さい。